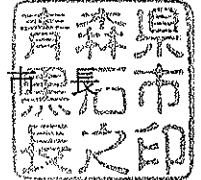




黒 秘 第 28 号
平成 19 年 5 月 / 日

国土交通省道路局長 様

青 森 県 黒 石



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

国道企第 114 号平成 19 年 4 月 2 日付けで依頼のあった標記の
件について、別紙のとおり回答いたしますので、何卒、特段のご配
慮を賜りますようお願い申し上げます。

中期的な計画の作成のための意見

青森県 黒石市

◎ [交流促進と連携強化を支援する道づくり]

「国道454号の整備促進」と「西十和田トンネル(仮称)」の建設

青森県八戸市から内陸部を横断し、秋田県小坂町を經由して青森県大鰐町に至る国道454号は、全国有数の自然環境に恵まれた「十和田八幡平国立公園」へのアクセス道路として広域的な観光レクリエーションの提供に寄与するばかりではなく、太平洋側と日本海側を連絡する東西横断道路として、青森県はもとより広く北東北の発展を図るうえできわめて重要であることから、早急な整備促進が必要であります。

国道454号の整備促進にあたって、今後、増加が予想される冬期観光の路線拡大によって津軽全域の活性化を図り、県南地域と秋田北地域との産業・経済・文化等の交流を推進するためには「西十和田トンネル(仮称)」を建設し、冬期間の交通ルートを確保することが必要不可欠であります。

◎ [都市機能の高度化を支援する道づくり]

「主要地方道・大鰐浪岡線の渋滞対策」

津軽東部を縦断する主要地方道・大鰐浪岡線は、青森県大鰐町を起点として、平川市・黒石両市を經由して青森市と連結する重要な幹線道路であり、生活、経済圏間の連絡強化、広域観光と文化の交流に欠くことができない路線であります。近年、融雪溝整備にあわせて歩道のバリアフリー化及び主要交差点に右折レーンの設置により、交通の円滑化が図られましたが、本路線に連絡する国道102号の4車線化及び幹線市道の整備が着実に進み、周辺の道路事情向上する一方で本路線の渋滞は依然として解消されていないのが現状であります。

加えて、今後、東北新幹線青森駅開業による観光客の増加が期待される中で、効率的に各種観光施設に迎え入れる広域観光あるいは、「あづましの里くろいし」にふさわしい良好な生活環境の創出のためにも、渋滞の解消・緩和を図る環状道路の整備が求められているところであります。

◎ [都市機能の高度化を支援する道づくり]

「こみせ」を核としたまちづくりへの支援

黒石市の中心市街地に位置する中町地区は、江戸時代からの造り酒屋、呉服店、餅屋等を残しており、いまだに、歴史的景観の風情を保っています。代表的な建造物として国重要文化財の「高橋家住宅」、市有形文化財の「鳴海家住宅」があり、表通りの正面に設けられた深い庇「こみせ」が連続してまちなみを形成しています。こみせの価値を認めまちづくりに活かそうと地域住民並びに関係団体の活動が活発となり、S61「手づくり郷土賞」の受賞、S62「日本の道100選」の選定を受け、S61年から「黒石こみせまつり」が開催されています。

現在、こみせ通り一帯を都市計画による「伝統的建造物群保存地区」に地区決定し、文化庁による「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受け、近年、(手づくり郷土賞)「大賞」に選定され、「美しいまちなみ賞・優秀賞」の受賞、さらには、「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されており、こみせに対する関心が県内外でも高いことが証明されたものであり、黒石の顔としても今後も幅広く宣伝していきたいと考えています。

このような経緯から、今後、当市では保存地区内の建築物に対する建築基準法の緩和を国に申請することとしており、歴史的景観のさらなる向上を図るため、まちなみ景観に配慮した取り組みに、国の支援を頂きながら実施してまいりたいと考えております。